

環境に配慮した農業の生産方法を知ろう！

<環境に配慮した農作物の認証制度>

現在、世界では地球温暖化や生物多様性の喪失が進行しています。農業分野では、生産性の向上を図りつつ、温室効果ガスの低減や生物多様性の保全などに取り組む「環境に配慮した農業」の普及を国を挙げて取り組んでいます。

福井県においても、土づくりを基本として、化学肥料や化学合成農薬の使用を減らし、環境への負荷を低減したエコ農業を推進しています。

その一つとして、化学肥料と化学合成農薬を通常の栽培より半分以上減らし、栽培された農作物を認証する「福井県特別栽培農産物認証制度」があります。

<福井県特別栽培農産物認証制度>

福井県では、化学合成農薬や化学肥料の削減割合ごとに、4つの認証区分を設けて認証しています。区分は、マークの赤枠の部分と水仙の数で分かります。



認証区分④



水稲（コシヒカリ、いちほまれ）
そば、大豆、サトイモ、梅などの
農作物を認証しています！

<生産方法>

環境に配慮した農業を行うために、様々な工夫が行われています。

○化学肥料を減らすための方法

化学肥料の代わりに、前作にれんげなどの緑肥（次作物の養分供給等の目的で育てられ、収穫せずにすき込む作物）を作付し土にすき込むことで、化学肥料使用量を減らすことができ、温室効果ガスの削減効果が期待されます。



○化学合成農薬の使用を減らすための方法

刈払機や除草機など機械を使った草刈りを行うことで、除草剤やカメムシ対象の殺虫剤の使用量を低減することができます。また、特定の害虫が好む色の粘着シートにより捕殺したり、天敵により病害虫を減らすなど、化学合成農薬を使用しない工夫を行っています。

また、環境に配慮した農作物を優先的に購入することで、環境に配慮した農業に取り組む生産者を支えることができます。

注目！イベント情報



『ふくいの食育リーダー・
ふくいの食育推進企業 合同研修会』
を開催しました！！

3月13日（木）に、教育センターにおいて、「ふくいの食育リーダー」と「ふくいの食育推進企業」の合同研修会を開催しました。当日は、マガジンの監修も務めていただいている、仁愛大学の佐藤真実教授による講演や、食育リーダーや食育推進企業の活動事例発表、グループディスカッションを行いました。

後日、研修会の様子を録画したものを、期間限定で共有させていただきます。

ぜひ、ご覧ください！

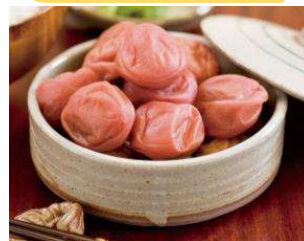


福井の食の魅力を発信！

「美食福井」代表食材

福井梅

紹介ページ



「福井梅」は、三方五湖周辺を中心に栽培されています。「紅映（べにさし）」「剣先」「新平太夫」「福太夫」の4品種が「福井梅」として販売されています。それぞれの品種には、独特の味わいや香りがあります。中でも、福井オリジナルの紅映は、肉厚な果肉で種が小さく、肉厚でぽってりとした食感が楽しめます。大手コンビニ等で取り扱われており、梅干し以外にも、梅酒や梅ジャム、スイーツなどにも利用されています。